

青年会だより

発行所：三重県曹洞宗青年会
 発行責任者：二村宏一 ☎(0599)25-2182
 三曹青公式サイト <http://www.sansousei.com/>

三重県曹洞宗青年会

検索



三重県曹洞宗青年会 第二十六代会長

二村 宏一



ご挨拶

三重県管内御寺院諸老師様方におかれましては益々ご健勝にて四衆御接化の事とお慶び申し上げます。平素は三重県曹洞宗青年会にご理解ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

会長職を受けさせて頂いてから、一年あまりが経ちました。五十周年を経て、次の五十五周年、また六十年へと向かうべく、新たな一步を踏み出しました。

まず以前より行わせて頂いておりました「見聞楽」を形を変えて開催していく事といたしました。三仏忌の法要に併せて、以前より好評を頂いております鼓司の和太鼓演奏、そし

て周年事業として行つた雲水カフェをお唱え致します。前日には法要研修をしつかりと行い、莊厳な雰囲気を作りながらも、皆さんにはわかりやすく見て頂いています。そして和太鼓の迫力ある演奏・そして和やかな雰囲気で、またゆつたりとした音楽の中での青年僧侶との普段聞けないような話にも花を咲かせ、見て・聞いて・楽しんで頂いております。

また、昨年は第五十回緑蔭禪の集いを広泰寺様を会場にお借りし、行いました。「雲水カフェ」のおかげもあり、初参加の方も含め五十三名の方にお集まり頂きました。周年特別講演としまして栃木県明林寺御住職西田正法老師に講演をお願いし、「禅と食」と題し法話を頂きました。

老師様が修行時代経験された事などを中心に、食を頂く者の心構えと、命と向き合う大切さを説かれ、その後今回最初の坐禅でも、実際に参禅者と共に坐りながら坐禅指導をして頂きました。二日目には「鼓司」による演奏をご覧いただきました。夏の強い日差しの中ではありましたが、迫力ある演奏に皆さんも暑さを忘れて見入つておられました。

十月には、九月にありました台風十八号によるボランティア活動を常総市で行いました。

午前は清掃活動、午後は傾聴活動

をお手伝いさせて頂きました。作業に行かれた青年会員は、水害発生から約一ヶ月、町は見た目には水害の影響を感じさせないほど復旧しても、まだまだ支援を必要としている方々がたくさんいるという事を忘れていけないと強く感じたそうです。そして、十一月末には鼓司の演奏を行わせて頂き、一心に叩く和太鼓の音で皆様を元気付けられるよう一生懸命演奏して頂きました。

このように青年会活動は見聞楽、緑蔭禪の集いを中心、静岡県駿河療養所での人権学習会や県内外のボランティア活動を行つております。このようにいろいろな場所で活動できるのも、三重県第一宗務所をはじめとした管内御寺院様、諸先輩宗師の皆様のご支援とご指導、青年会員宗師の多大なるご尽力のおかげです。

今後、「見聞楽」も青年会員のお寺だけではなく、「うちの寺でもやつて欲しい」と言つてもらえるような内容に仕上げて行きたいと思いますので、会場をお願いさせて頂ける御寺院様がありましたら、ご一報頂き相談させていただきたいと思います。

最後になりましたが、皆様方のご法体堅固・福寿無量をご祈念申し上げ挨拶とさせて頂きます。





青年会月例行事『見聞楽』

～心にひびく禅～

月例担当 糸川定伸



見聞樂とは、十三世紀頃のイタリアの冒險家、マルコ・ポーロの旅行記として有名な「東方見聞録」をもとに、当青年会員が考えた造語です。三重県曹洞宗青年会は発足当時より月例行事として、自己研鑽の研修や事業に取り組んでまいりました。五十年以上の歴史を持つ青年会ですので、その

当時、その当時で様々な取り組みがなされてきましたが、現在私たちが月例行事として取り組んでいるのが、この見聞樂です。青年僧侶とともに「見る」「聞く」そして「楽しむ」をキーワードに、もつと身近に「仏教」や「禅」の心を感じて頂きたいとの思いから組みです。マルコ・ポーロほど饒舌には語れませんが、まずははじめに見聞【樂】の見聞【録】から記してみたいと思います。

私たちが、初めて「見聞樂」と銘打って取り組んだのは、今から七年前の平成二十六年六月です。当初は「法要」「法話」「和太鼓演奏」の三部からなる取り組みでした。開催地もそれまではどうしても、県内の中心地である松阪市で行うことが多かったのですが、他の地域でも行うことはできないかと、伊賀

市・鈴鹿市・伊勢市・紀北町と各地で開催させていただきました。何度も何度も打ち合わせや予行練習を重ね、照明や音響、駐車場係といった裏方まで自分たちで配役を決めて取り組みました。取り組む中にも、法要でご祈祷を厳修してみたり、法話を小さな子供用に自作のゲームで行ってみたり等の試行錯誤を繰り返し、第五回目まで続けてまいりましたが、平成二十三年三月十一日に起きた東日本大震災を受けて、私たち青年会の取り組みも、被災地でのボランティア活動や傾聴活動といったものに変わっていきました。さらにその三年後には、記憶にも新しい当青年会の五十周年記念事業を控え、なかなか見聞樂を開催することができない時間が流れていきました。

しかし、五十年記念事業も大成功に終わつた昨年、二村宏一師の第二十六代会長就任を機に、師のたつての希望もあり、見聞樂が四年振りの復活開催となりました。それが現在の「法要」「和太鼓演奏」「雲水カフエ」の三部からなる見聞樂です。平成十七年の結成以来、今や日本を飛び出し海外でも公演を大成功させている鼓司の「和太鼓演

奏」を中心に、「法要」は当青年会創立以来の事業であり、青年会員全員が一致団結し獅子奮もる三佛忌法要を行い、青年会員全員が「雲水カフエ」を継承した、より多くの方々に、より「仏教」や「禅」の心を身边に感じていただける見聞樂となりました。そこには、東日本大震災で

のボランティア活動や、傾聴活動で得た「寄り添いの心」が生きています。

様々な問題、様々な事件、そして様々な課題が山積みとなつた現代社会を生きる私たち青年僧侶に、今、できることとはなんでしょうか。やるべきこととはなんでしょう。それは、お釈迦様、道元禪師様の正法の教えを実践し、檀信徒の皆さんと共に共有していくことではないでしょうか。

冒頭で紹介したマルコ・ポーロの東方見聞録ですが、ここで日本のことを「黄金の国ジパング」と紹介しているのは有名なお話です。私たちも、参加者の皆様とともに、キラ輝くひと時を過ごすことができるよう、日々精進して参ります。

これまでに見聞樂の会場として、御寺院を開放してくださいました

をお借りし改めてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。三重県曹洞宗青年会では、今後もこの見聞樂の取り組みを続けていきたいと考えておりますので、管内各御寺院様におかれまして、見聞樂開催のご依頼等ございましたら、お近くの青年会員へお声がけください。現在は三佛忌法要での取り組みですが、その他行事での法要や、またはお寺を飛び出しての開催にも対応できるよう検討中です。今後ともご理解、ご協力のほど宜しくお願い致します。



雲水カフェ



三重県曹洞宗青年会五十周年記念事業の一環として行われました「雲水カフェ」を見聞楽の茶話会として取り入れました。元々、雲水カフェは参加者を定員三十人程度にしていたため、たくさんの方が参加されるこの見聞楽に対応するためにはどうにすればよいかを模索しました。

私たちがこだわりをもつていたお茶の入れ方は変えずに、急須をかえてたくさんの方に提供できる様に、変更しました。

お茶は鈴鹿の御煎茶を使用し青年会員が心を込めてお茶をいれます。お菓子は季節に合ったものをと思い、四月は桜、十二月は雪をモチーフにしたお菓子をご用意いたしました。

五十分ほどのお時間ですが、参加者と交流を深めることができ、普段はなかなか聞けないお寺のことでは盛り上がり、ついつい時間をオーバーされる方や、青年会員の修行体験談に涙を浮かべる方もいらっしゃいました。五十分経つ頃にはどのテープルでもたくさんの笑顔であふれています。

これからも「ほつ」と一息つける空間を提供していきたいです。

緑蔭禪の集い第50回記念の様子



NEW
FACE

新しい青年会員

今年度2名の方々が青年会に入会致しましたのでご紹介いたします。
これから先の青年会を担つてまいります。ご指導の程宜しくお願ひ致します。



28教区
佛光寺

18教区
大泉寺

伊藤 峻悦

龍谷 孝道



各担当よりご案内

■ 緑陰禪 担当 牧野 正人

「緑陰禪二年目を迎えて」

三曹青緑陰禪は昨年、沢山の方々のお力添えのお蔭を持ちまして五十周年を迎える事が出来ました。会場主の廣泰寺さまには永年にわたりご理解、ご協力を頂きました。がとうございました。坐禅を通じて沢山の方々との「ふれあい」は我々にとっては大切な時間でありました。重ねて感謝申し上げます。

【倒れても起き上がり、起き上がつては前に進む】と七転び八起きの思いで、より良い緑陰禪に取り組んでまいりますので本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

■ 伝道車担当 廣 賞佳

昨年度は宗務所行事、県内ご寺院様の布教等たくさんご利用して頂きましたこと感謝申さざいました。今年度もたくさんのご教場でご利用して頂けますようお申し込みをお待ちしております。

■ 月例担当 糸川 定伸

月例担当として二年目に入りました。今期から新たに、月例補佐係を置いて頂いたにも関わらず、一村会長はじめ、各役員の皆様にはご迷惑をたくさんかけてきた一年だったと感じています。それすべく、気持ちのアツさ故とご勘弁頂ければ幸いです。その熱が伝わり、見聞樂も二度向かう等、十公演以上の予定があり、年明け早々から練習に励んでおります。

と人権学習が青年会員諸兄の良き研鑽になつていくよう、今後も努力していきます。ご理解、ご協力宜しくお願ひ致します。

■ 全曹青担当 井尻 嘉導

皆様には、日頃より全曹青行持に御参加並びに御協力頂き有難うございます。

本年度は、三月十日全曹青主催にて東日本大震災『逮夜慰靈法要』於福島県成林寺様。三月十一日宮城県曹青主催『三・一慰靈行脚』於宮城県大川地区。

また、全曹青主催並びに各曹青主催行持の参加協力のご依頼を隨時お願い致しますので、よろしくお願ひ致します。

■ 東海曹青担当 中岡 正仁

今年で東海曹青を担当させていただいて二年目となりました。昨年は東海曹青主管の事業にご協力頂き、感謝申し上げます。また、東海曹青管区内の他曹青の周年事業が幾つかございましたが、こちらにもご参加頂き、お礼申し上げます。

本年も、代わらずご配慮下さいます様、お願い申し上げます。

■ 鼓司担当 浦野 将志

鼓司の代表を務めさせていただきましたが、一年が経ちました。代表としてまだまだ未熟であり、メンバーの力を借りながら日々精進しております。

昨年は鼓司にとつてとても飛躍した年になりました。

大本山總持寺様において二度も演奏の機会を頂きました。またマレーシアのBGFセンターにも再度声をおかけ頂き、演奏のため招待して頂きました。昨年は一年間で十四回の公演の機会を頂きました。

今年も既に韓國遠征や山形や宮城と東北にも二度向かう等、十公演以上の予定があり、年明け早々から練習に励んでおります。

また、新たに二人の若いメンバーが加わり益々飛躍して行く事と思います。
本年も和太鼓集団「鼓司」をどうぞよろしくお願ひ致します。

■ IT事業担当

また、新たに二人の若いメンバーが加わり益々飛躍して行く事と思います。
本年も和太鼓集団「鼓司」をどうぞよろしくお願ひ致します。

会費納入のお願い

平素は青年会活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

青年会の各活動は、みなさまの会費によって成り立っております。会費の納入がお済みでない方は、お近くの青年会員または、会計井上洋彰までお問い合わせください。

■ 正会員 一〇、〇〇〇円
■ 賛助会員 二〇、〇〇〇円

何卒ご理解いただきますようよろしくお願ひいたします。

事務局便り

◆ 昨年入れ替わりました青年会執行部も二年目になりました。任期二年で何ができるであろうかと悩みながら、「あつ」という間に一年が過ぎ去つてしましました。皆様には色々と迷惑をおかけすることもあったと思ってます。そんな状況でありながらも、会員や県内御寺院様、協賛企業様等多くの方々にご支援ご協力いただき何とか初年度を終える事が出来ました。感謝申し上げます。今年も二村会長指揮のもと執行部一同、会員と協力し精進努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

◆ 現執行部の大きな取り組みの一つとして、数年前に何度か開催し震災ボランティアや五十周年事業で中断しておりました「見聞楽」を再始動しました。五十周年事業で行いました「雲水カフェ」も取り入れ、お寺や僧侶をもつと身近に感じてもらおうと精一杯のおもてなしをさせて頂きますので、ご協力お願い申し上げます。

◆ 現在、当青年会の倉島隆行師が全国曹洞宗青年会の副会長として活躍しております。私どもも倉島師を最大限サポートさせて頂きましたが、皆様にも全国曹洞宗青年会へのご支援ご協力をお願い申し上げます。

◆ 近年、青年僧侶が続々と青年会に参加していただいており、様々な活動を行うことができるようになってまいりました。一人ではなくなかなか実現しにくい活動も青年会では企画することができます。まだ参加しておられない各寺院の御弟子様、お知り合いの若い方にも一声かけていただき、是非とも入会していただきますようお願い申し上げます。青年会活動により、今後の県内御寺院様の交流と親睦、また自己の研鑽がますます進んでいくものと確信しております。

事務局一同 合掌